

2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月13日

上場会社名 株式会社U-NEXT HOLDINGS 上場取引所 東
コード番号 9418 URL <https://unext-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 宇野 康秀
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 西本 翔 (TEL) 03-6823-7015
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績(2025年9月1日~2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	332,320	17.2	25,233	4.2	23,728	△0.9	12,919	△4.8
2025年8月期第3四半期	283,438	20.3	24,206	2.9	23,952	4.1	13,567	4.3

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 13,919百万円(△3.4%) 2025年8月期第3四半期 14,415百万円(5.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	EBITDA		調整後EPS	
	円 銭	円 銭	百万円	%	円 銭	%
2026年8月期第3四半期	71.63	—	35,735	9.5	86.71	△2.5
2025年8月期第3四半期	75.22	—	32,639	5.3	88.90	4.3

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 当社は、2024年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第3四半期	335,458	122,055	31.9
2025年8月期	259,782	108,708	37.6

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 106,937百万円 2025年8月期 97,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	7.00	—	8.50	15.50
2026年8月期	—	8.50	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日~2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	424,000	8.6	33,500	6.1	32,200	4.2	18,500	0.6

	EBITDA		調整後EPS	
	百万円	%	円 銭	%
通期	46,500	8.1	121.97	7.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社エクシング、除外 1 社 (社名)
(注) 詳細につきましては、添付資料P. 7 「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細につきましては、添付資料P. 7 「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年8月期3Q	180,375,333株	2025年8月期	180,375,333株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年8月期3Q	423株	2025年8月期	423株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年8月期3Q	180,374,910株	2025年8月期3Q	180,375,007株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 当社は、2024年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

- (5) 各種経営指標の算式
・ EBITDA : 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費
※ 減価償却費、のれん償却費はC/F計算書の金額を使用しております。
・ 調整後EPS : 調整後当期純利益 (注) / 期中平均株式数
(注) 親会社株主に帰属する当期純利益 + のれん償却費
※ 四半期においては、「当期」を「四半期」に読み替えて計算しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 有 (任意)
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料の入手方法について)
決算補足資料は、2026年7月13日TDnetに提出するとともに当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当該内容は、本日(2026年7月13日)付でTDnet及び当社IRサイト(<https://unext-hd.co.jp/ir/presentation.html>)に掲載した決算説明資料に記載しておりますので、決算説明資料をご覧ください。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて75,675百万円増加し、335,458百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が22,839百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が10,892百万円増加したこと、棚卸資産が3,117百万円増加したこと、コンテンツ配信権が3,263百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて43,621百万円増加し、215,979百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が8,908百万円増加したこと、無形固定資産が15,523百万円増加したこと、投資その他の資産が7,622百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて32,054百万円増加し、119,478百万円となりました。

(負債)

流動負債は、支払手形及び買掛金が18,286百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて29,306百万円増加し、109,112百万円となりました。

固定負債は、社債が20,000百万円増加したこと、長期借入金が8,931百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて33,022百万円増加し、104,290百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が9,358百万円増加したこと、非支配株主持分が3,979百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて13,346百万円増加し、122,055百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年10月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,882	79,721
受取手形及び売掛金	48,927	59,820
棚卸資産	12,196	15,313
コンテンツ配信権	42,196	45,460
その他	12,603	16,266
貸倒引当金	△448	△603
流動資産合計	172,358	215,979
固定資産		
有形固定資産	24,387	33,295
無形固定資産		
のれん	40,022	47,887
その他	13,159	20,818
無形固定資産合計	53,182	68,705
投資その他の資産		
その他	15,534	18,990
貸倒引当金	△5,680	△1,513
投資その他の資産合計	9,854	17,476
固定資産合計	87,424	119,478
資産合計	259,782	335,458
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,559	54,846
電子記録債務	1,539	941
1年内返済予定の長期借入金	3,153	4,236
未払法人税等	6,692	5,970
その他の引当金	854	1,026
その他	31,006	42,090
流動負債合計	79,805	109,112
固定負債		
社債	10,000	30,000
長期借入金	55,663	64,595
退職給付に係る負債	2,236	5,448
その他	3,368	4,246
固定負債合計	71,268	104,290
負債合計	151,074	213,403

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	99	99
資本剰余金	29,786	29,786
利益剰余金	67,534	76,893
自己株式	△0	△0
株主資本合計	97,420	106,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87	106
退職給付に係る調整累計額	63	52
その他の包括利益累計額合計	150	158
非支配株主持分	11,137	15,117
純資産合計	108,708	122,055
負債純資産合計	259,782	335,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	283,438	332,320
売上原価	186,752	228,404
売上総利益	96,685	103,915
販売費及び一般管理費	72,478	78,682
営業利益	24,206	25,233
営業外収益		
受取利息	33	98
持分法による投資利益	115	76
その他	641	162
営業外収益合計	789	337
営業外費用		
支払利息	570	928
為替差損	226	455
その他	247	457
営業外費用合計	1,044	1,842
経常利益	23,952	23,728
特別利益		
固定資産売却益	0	7
投資有価証券売却益	31	—
特別利益合計	31	7
特別損失		
固定資産除却損	464	773
その他	105	—
特別損失合計	569	773
税金等調整前四半期純利益	23,413	22,962
法人税等	9,026	9,056
四半期純利益	14,387	13,906
非支配株主に帰属する四半期純利益	819	986
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,567	12,919

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	14,387	13,906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	24
退職給付に係る調整額	△11	△10
その他の包括利益合計	28	13
四半期包括利益	14,415	13,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,595	12,928
非支配株主に係る四半期包括利益	819	991

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社エクシングの株式を取得したことにより連結子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ 配信事業	店舗・施設 ソリューション事業	通信・エネ ルギー事業	金融・不動 産・グロー バル事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	8,513	29,236	13,401	2,986	54,137	—	54,137
一定の期間にわたり移転 される財	86,197	42,618	96,182	2,283	227,281	40	227,322
顧客との契約から生じる 収益	94,711	71,854	109,583	5,270	281,419	40	281,459
その他の収益(注) 3	—	—	—	1,978	1,978	—	1,978
外部顧客への売上高	94,711	71,854	109,583	7,248	283,398	40	283,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	287	1,284	3,293	756	5,621	△5,621	—
計	94,998	73,138	112,876	8,004	289,019	△5,580	283,438
セグメント利益	7,754	13,320	8,754	1,220	31,050	△6,843	24,206

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,843百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく収益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ 配信事業	店舗・施設 ソリューション事業	通信・エネ ルギー事業	金融・不動 産・グロー バル事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	10,968	25,873	16,331	4,616	57,790	6	57,796
一定の期間にわたり移転 される財	96,341	47,340	115,523	6,004	265,210	31	265,242
顧客との契約から生じる 収益	107,310	73,214	131,855	10,620	323,000	38	323,038
その他の収益(注) 3	—	1,388	2,327	5,565	9,281	—	9,281
外部顧客への売上高	107,310	74,602	134,182	16,186	332,282	38	332,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	313	2,151	3,756	336	6,558	△6,558	—
計	107,623	76,754	137,939	16,523	338,840	△6,520	332,320
セグメント利益	9,007	13,059	8,644	1,758	32,469	△7,236	25,233

(注) 1. セグメント利益の調整額△7,236百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号2007年3月30日)に基づく収益であり、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」及び「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき実施される「電気・ガス価格激変緩和対策事業」により、国が定める値引き単価による電気・ガス料金の値引きを行っており、その原資として受領する補助金、保険法における定義を満たす保険契約等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社エクシングの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「店舗・施設ソリューション事業」セグメントにおいて10,546百万円のものれんが発生しております。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	5,964 百万円	7,782 百万円
のれんの償却額	2,467	2,720

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2026年7月13日

株式会社U-NEXT HOLDINGS

取締役会 御中

三優監査法人

東京事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 増 田 涼 恵

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中 西 寛 彰

指定社員
業務執行社員 公認会計士 吉 田 寛

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社U-NEXT HOLDINGSの2025年9月1日から2026年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2026年3月1日から2026年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2025年9月1日から2026年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社(四半期決算短信開示会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。